

「斜面防災技術」に関する講習会のご案内

斜面防災技術講習会
運営事務局

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

近年、日本各地で台風や集中豪雨による地すべり・がけ崩れ・土石流の土砂災害が発生しております。このような環境の下、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」も3年目を迎え、土砂災害や落石に対する斜面防災対策の重要性も高まっております。

そこで今回、斜面防災技術に関する最新の知見や、調査・対策技術に関してご説明させて頂く機会を設けたいと考え、斜面防災技術の発展に真摯に取り組んでいる2つの研究会が合同で、講習会を開催する運びとなりました。

斜面の樹木を活かし、自然斜面の安定化を図ることができる「ノンフレーム工法」は、自然環境や景観保全に加えて、建設労働者人口減少に伴い省人化に対する意識が高まる中、注目を集めています。さらに、盛土規制法の施行に伴い、盛土等の安全対策工法としても広く普及が進むものと考えられます。

待受け型落石土砂防止柵である「ハイジュールネット工法」は、従来タイプに比べ、高エネルギーの落石を捕捉することができます。また、土砂を捕捉する機能を有しており、土砂災害の対策工としての需要にも対応しています。本工法は、大がかりな基礎を必要とせず、自然環境にも配慮した工法であり、落石および土砂災害に適用する工法として採用が進んでいます。

斜面防災に関心をお持ちの皆様のご参加を、心からお待ち申し上げます。

敬具

記

- 1.開催日時 2023年10月26日(木) 13時30分～17時30分
(受付開始 13時00分)
- 2.講習会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館1階 集会室9号
〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川 745 TEL: 029-241-1166 (代表)
- 3.参加料 無 料
4. CPDポイント 地盤工学会ならびに森林分野 (JAFEE) の CPD プログラム

JCCA 認定プログラム 単位申請予定

※建設系 CPD 協議会加盟の他団体での CPD 単位申請については、各団体の問合せ窓口までお問合せ下さい。

5. 申込要領 下欄参加申込要領 URL または QR コードにアクセスし所定事項を入力願います。

【申し込み期限: 2023年10月19日(木)】

(先着 60 名様。 ※応募者多数で受け付けられない場合、事務局からご連絡致します。)

6. スケジュール

時間	内容	講師
13:30~13:35	開 会 挨拶	
13:35~14:15	高エネルギー吸収型落石土砂防止柵 ハイジュールネット工法の開発、 設計手法、事例紹介	ハイジュールネット工法研究会事務局 掃部 孝博
14:15~14:20	質 疑 応 答	
14:20~15:00	ノンフレーム工法の概要、 設計、事例紹介	ノンフレーム工法研究会 技術委員長 大高 範寛
15:00~15:05	質 疑 応 答	
15:05~15:15	休 憩	
15:15~15:55	ノンフレーム工法の施工、 維持管理について	ノンフレーム工法研究会 技術委員 衛藤 智徳
15:55~16:00	質 疑 応 答	
16:00~16:10	休 憩	
16:10~17:20	特別講演 「気候変動対応政策と建設技術」	茨城大学 名誉教授 ((一社) LRRRI 代表理事) 安原 一哉様
17:20~17:30	質 疑 応 答	
17:30	閉 会	

※開会・閉会時刻以外のスケジュールは、若干変更させて頂く可能性がございます。

<お問い合わせ先>

斜面防災技術講習会運営事務局 (筒井・池田) TEL03-6625-6230、FAX03-6625-6231

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 (日鉄建材(株)気付)

参加申込要領

茨城県水戸市 会場

斜面防災技術講習会 運営事務局宛

下記の URL もしくは、QR コードの申込み専用フォームからお申込みください。

<https://00m.in/67PqX>

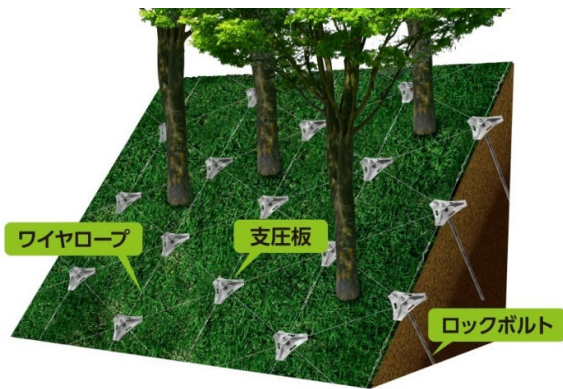




自然環境・景観を保持しながら斜面の安定を図る

ノンフレーム工法

安定な地盤まで補強材(ロックボルト)を打ち込み、地表面には支圧板を取り付けて、崩れやすい土を押さえ込みます。さらに全体をワイヤロープで連結して、斜面の安定性を高め、がけ崩れを防ぎます。

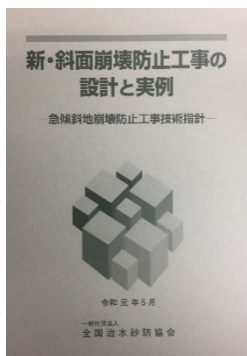


構造イメージ



ノンフレーム工法で施工した斜面は、自然も守られています。

急傾斜地崩壊防止工事技術指針 に掲載 (事例写真)



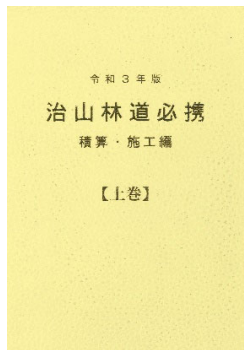
掲載写真

新・斜面崩壊防止工事の設計と実例
— 急傾斜地崩壊防止工技術指針 —
令和元年5月 (改訂版)

本編 第10章 地山補強土工法の設計・施工

ワイヤロープ併用型として、
ノンフレーム工法の写真が掲載
(本編268ページ)

「治山林道必携」に歩掛りが掲載

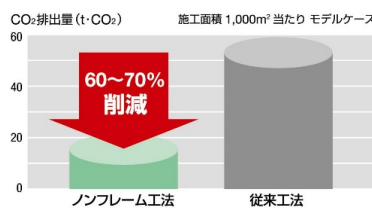


「平成29年度治山林道必携」より、
ノンフレーム工法の施工歩掛りが
標準歩掛りとして掲載されました。

- 4-7 斜面安定工
- 4-7-2 鉄筋挿入工(自穿孔)
- 4-7-3 頭部連結併用工

SDGs 実現に資する工法

工事で排出されるCO₂量の比較



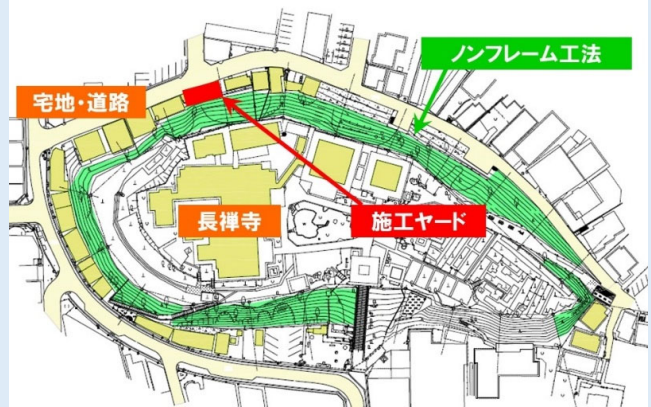
従来工法に比べ工事で
排出される二酸化炭素
は60~70%削減できます。
また、木を切らないで斜面
の安定を図るため、森林
環境を守ります。

「建設施工における地球温暖化対策の手引き」(社)日本建設機械化協会 平成15年7月を元に算出

ノンフレーム工法研究会

施工事例 (講習会当日は、この他ノンフレーム工法が課題を解決した事例をさらにご紹介致します。)

茨城県取手市 長禪寺 — 景観・環境保全と斜面防災の両立 —



取手市街地の小高い丘の上に建つ寺院(長禪寺)、寺院周辺の厳かな景観は寺院とともに長い年月を歩みながらできたもので、一度損なわれると回復するのは用意ではありません。ノンフレーム工法は小高い丘の上に建つ寺院外周(約4700㎡)の斜面对策工として施工されました。ノンフレーム工法によって斜面防災と歴史ある景観の保全の両立が図られています。



狭小な施工ヤードで施工



施工後2ヶ月



施工後2年

現場はJR 取手駅前住宅密集地で、施工ヤードは駐車場数台分しかないという、極めて厳しい施工条件でした。大規模なプラント設備を必要としないノンフレーム工法だからこそ、このような狭小な施工ヤードでも、問題なく施工できました。

茨城県日立市西成沢地区 — 急傾斜崩壊対策 —



斜面上方には県立日立産業技術学園、直下には西成沢団地と通学路があり、地域住民にとって重要な場所です。ノンフレーム工法は急傾斜崩壊対策として当該斜面約6000㎡にわたり施工されました。

茨城県取手市某所 — 施工後の経年変化 —



施工後直後



施工後約10年

木を伐採しないで斜面の安定を図れるノンフレーム工法は、施工後約10年経過した現在も景観・環境保全および防災の両立を図っています。

「斜面防災技術」に関する講習会 次第

ハンフレーム工法研究会

ハイジュールネット工法研究会

日時：2023年10月26日（木） 13時30分～17時30分

会場：ザ・ヒロサワ・シティ会館（分館1階 集会室9号）

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745

◆◆ 内容 ◆◆

13時30分	開会
	挨拶 ハンフレーム工法研究会 技術委員長 大高 範寛
13時35分	高エネルギー吸収型落石土砂防止柵ハイジュールネット工法の開発、 設計手法、事例紹介
	ハイジュールネット工法研究会事務局 掃部 孝博
14時15分	質疑応答
14時20分	ハンフレーム工法の概要・設計・事例紹介
	ハンフレーム工法研究会 技術委員長 大高 範寛
15時00分	質疑応答
	休憩（15時05分～15時15分）
15時15分	ハンフレーム工法の施工、維持管理について
	ハンフレーム工法研究会 技術委員 衛藤 智徳
15時55分	質疑応答
	休憩（16時00分～16時10分）
16時10分	特別講演
	「気候変動対応政策と建設技術」
	茨城大学 名誉教授（（一社）LRRRI 代表理事） 安原 一哉 様
17時20分	質疑応答
17時30分	閉会

以上

【「斜面防災技術」に関する講習会場アクセス地図】

【開催概要】 2023年10月26日（木） 13時30分～17時30分

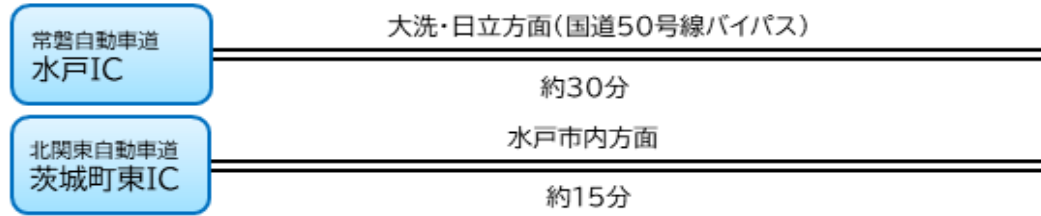
ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館1階 集会室9号

※講習会場は分館となりますのでご注意ください。

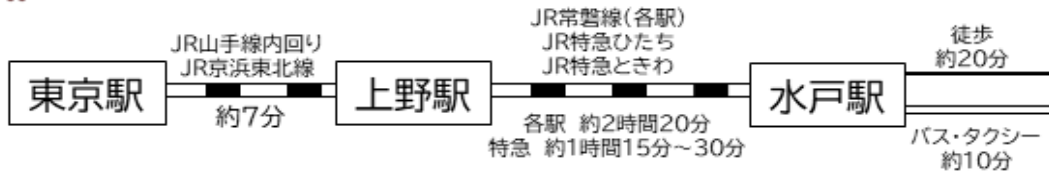
〒310-0851

茨城県水戸市千波町後川745(分館住所)

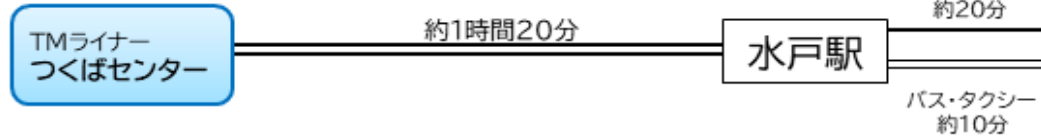
車をご利用の場合



電車をご利用の場合



高速バスをご利用の場合



路線バスをご利用の場合

《JR水戸駅北口8番または南口2番(平日のみ)バス乗り場より》

関東鉄道……[行き先]文化センター・本郷方面 [下車バス停]文化センター

※平日のみ、一部南口2番バス乗り場より運行しております。

茨城交通……[行き先]千波・笠原 メディカルセンター前 [下車バス停]文化センター前

※文化センター入り口で下車してしまうと、当館までは徒歩数分かかりますのでご注意ください。



